NEWS RELEASE

2026 年 11 月 13 日

各位

会社名　　日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　山本　秀樹
（コード番号：6063　東京証券取引所スタンダード）

コールセンターシステムにおいて
国際セキュリティ基準「PCI DSS V4.0.1」に準拠

決済・カード情報を取り扱う受託業務の安全性を強化しクライアント企業のガバナンス高度化に貢献

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社は、当社が運用するコールセンターシステムについて、クレジットカード業界の国際セキュリティ基準「PCI DSS（Payment Card Industry Data Security Standard）V4.0.1」のすべての要件に準拠していることが確認され、2026 年 10 月 31 日付で PCI DSS 準拠評価証明書（Certification of PCI DSS Assessment）を取得いたしましたので、お知らせいたします。

■ 背景

キャッシュレス決済の普及に伴い、クレジットカード情報をはじめとする重要情報を狙ったサイバー攻撃や不正利用のリスクは年々高まっています。PCI DSS は、カード情報の取扱いを外部に委託する場合にも、委託先の準拠状況を管理するよう求めています。そのため、コンタクトセンターや BPO サービスを利用する委託元企業では、委託先を含めたセキュリティ管理とガバナンスの高度化が重要な経営課題となっています。

当社はこれまでも、プライバシーマークを通じて厳格な情報管理体制を運用してまいりました。今回、委託元企業様およびエンドユーザーの皆様に一層の安心をお届けするため、国際基準に基づく第三者評価を受け、PCI DSS V4.0.1 の準拠評価証明書を取得いたしました。

■ 準拠の意義　金融・決済領域で求められるセキュリティ水準を客観的に証明

PCI DSS は、ネットワークセキュリティ、保存データの保護、通信の暗号化、アクセス制御、脆弱性管理、ログの監視、セキュリティ方針の運用など、多岐にわたる要件で構成されています。今回の準拠評価により、当社コンタクトセンターの運用が、金融・決済領域で求められる水準のセキュリティ管理のもとで実効的に機能していることが、独立した評価機関によって客観的に証明されました。

■ 委託元企業のメリット

- **委託先管理の負担軽減**：当社の PCI DSS 準拠評価証明書を、委託先評価やセキュリティ監査の根拠資料としてご活用いただけます。
- **現行基準への対応**：PCI DSS の現行バージョンである V4.0.1 に基づく評価のため、最新の要件を前提とした委託先選定が可能です。
- **受託業務の拡大**：クレジットカード会員様向けアシスタンス業務など、決済・カード情報の取扱いを伴う業務も、安心してお任せいただける体制を整えました。

■ **今後の展望**　継続的な改善を通じて、より信頼されるビジネスパートナーへ

PCI DSS の準拠状態は、年次の再評価によって継続的に維持・確認する必要があります。当社は今回の準拠を一過性の取組みとせず、日常の運用の中でセキュリティ対策を継続的に改善してまいります。今後も、厳格なセキュリティ要件が求められる決済関連・個人情報取扱業務の受託体制を一層強化し、クライアント企業様から信頼されるビジネスパートナーとして、安全で高品質なサービスを提供してまいります。

【準拠概要】

準拠規格	PCI DSS（V4.0.1）
準拠対象	コールセンターシステム
認定セキュリティ評価機関（QSA）	NRI セキュアテクノロジーズ株式会社
登 録 日	2026 年 10 月 31 日

【PCI DSS とは】

PCI DSS は、American Express、Discover、JCB、Mastercard、Visa の国際カードブランド 5 社が設立した PCI SSC（PCI Security Standards Council）が策定・管理する国際的なセキュリティ基準です。カード会員データを安全に取り扱うことを目的としています。12 の要件と、それを具体化した数百項目に及ぶ詳細要件で構成されています。国際的なセキュリティ基準として、金融・決済業界をはじめ広く認知されています。

■本件に関するお問合せ先
IR室
電話：03-3811-8123

以上